

令和8年度
(2026年度)

和歌山市学校教育指針

学校教育は、人間尊重の精神を基調とし、生涯学習の基盤を培うとともに、国際的な視野に立って、持続可能な社会の創り手となる子供に「生きる力」を育むという重大な使命をもっている。

学校教育に携わる者は、教育に関わる諸々の実態を踏まえ、家庭・地域との連携を図り、確かな見通しをもち、温かい心で子供に接し、豊かな心を育て、個性を生かし、一人一人の資質・能力を伸ばすよう努めることが大切である。

また、教育の質的向上を図るため、教育公務員としての自覚のもと、広く英知を結集し、識見と力量を高める研修が一層必要である。

学校は、校園長の強いリーダーシップのもと、全教職員が一丸となり、充実した活力ある子供の主体性を重んじた教育実践を積極的に進めるとともに、「社会に開かれた教育課程」を実現し、市民の信頼と期待に応えるよう努めなければならない。

令和8年4月1日
(2026年)

和歌山市教育委員会

1 本年度の重点課題

- ◇ 確かな学力の育成
- ◇ 道徳教育の充実
- ◇ 健やかな体の育成
- ◇ 特別支援教育の充実
- ◇ 不登校・いじめ問題の解消
- ◇ 子供の安全確保の徹底
- ◇ 地域とともにある学校づくりの推進

2 学校教育の重点

(1) 「生きる力」を育む教育実践を充実する

- ◎知・徳・体の調和のとれた子供の育成に努め、温かい人間関係を醸成し、命の尊厳を体得するように指導する。
- 学習習慣の定着を図り、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を徹底するとともに、それらを生かし、自ら課題を見つけ、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する資質・能力等を含めた確かな学力の育成を図る。
- 言語活動など学習の基盤をつくる活動を充実する。
- 個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努める。
- 1人1台端末を活用し、情報化の進展に対応できる能力・態度の育成に努める。
- 心豊かな道徳性を養い、たくましく生きる人間の育成を図る。
- 伝統と文化を尊重する態度を養うとともに、郷土や国を愛する心を育む。
- 国際社会で主体的に生きる日本人としての資質・能力の基礎を培う。
- 食育の推進と体力の向上に努める。
- 健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努める。
- 生涯を通じて学び続け、社会の変化に主体的に関わることのできる能力の育成に努める。

(2) 信頼され魅力ある学校づくりを推進する

- ◎幼稚園教育要領、学習指導要領の趣旨を踏まえ、教育目標に即した指導理念の一体化を図り人間形成の場にふさわしい学校・学級づくりに努める。
- 学校の教育課題を把握し、特色を生かした教育課程を編成する。
- 学校・家庭・地域が連携・協働し、社会に開かれた教育課程の実現を図る。
- 生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人として健やかに成長することができる学習環境を整える。
- 個に応じた適切な指導と必要な支援を行い、学ぶことの楽しさや達成感を得られる教育活動を展開する。
- いじめ・不登校の未然防止や早期発見・早期対応に努め、学校全体で組織的に問題解消に取り組む。
- 地域の自然や文化、人材等を生かした教育活動の充実に努める。
- 家庭や地域、関係機関、異校種等との連携を図り、子供の安全確保と健全育成に努める。

(3) 教育公務員としての資質を高める

- ◎全体の奉仕者であることを自覚し、高い遵法精神と規範意識をもって、常に自己の研鑽に努める。
- 教育活動を振り返るとともに積極的に研修に努め、相互に学び合い、教員としての指導力・専門性を高める。
- 子供を見つめ、深く理解し、その成長を支援する。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた改善の推進を図る。

3 めざす子供像

将来の和歌山市を創造できる人を育てる

～ともに学び ともに支えあい 未来につながる教育～

「豊かな心」を育む

- 生きることの尊さを理解し、自他の生命を大切にする。
- 人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を身に付ける。
- 人々の多様なあり方を互いに認め、支え合う態度を身に付け、共生社会の担い手となる。
- 国際的な視野に立ち、文化の多様性について理解を深める。
- 様々な人権問題を理解し、自他の人権を守るために行動する。

「確かな学力」を育む

- 人や自然、地域社会と関わりながら、遊びや学びを創造する。
- 自ら課題を見つけ、見通しをもって粘り強く学ぶ。
- 他者と協働し、対話を通して考えを広げ深める。
- 感性を働かせて、思いや考えを基に、豊かに意味や価値を創造する。
- 本に親しみ、読書活動を通して感性を磨き、読解力や表現力を高める。

「健やかな体」を育む

- 外遊びやスポーツ活動に意欲的に取り組み、基礎的な体力を高める。
- 食事、運動、休養・睡眠の調和のとれた生活を送る。
- 心身ともに健康で安全な生活を実践する能力と態度を身に付ける。
- 食に関心をもち、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける。
- 健康情報や性に関する情報等を正しく選択して適切に行動できる力を身に付ける。

「よりよい社会の形成者となるための力」を育む

- きまりを守り、社会の一員としての自覚をもつ。
- 情報社会のルールとマナーを守り、情報を適切に活用する。
- 進んで働き、勤労の意義を理解し、その尊さを知る。
- 災害に備え、命を守るための知識・判断力・行動力を身に付ける。
- 地域の歴史・文化・自然のよさを知り、ふるさとを愛する心をもつ。